

第5期区民会議審議テーマ「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」論点整理

中原区の特徴

- 日常生活に自転車が切り離せない／平坦な土地で利用しやすい。台数が非常に多い。(1家庭で複数台所有するケースも多い)
- 多様な住民の存在／転入者と古くからの住民、多世代、外国人、障がい者など →相互の理解が今後のまちづくりのカギ、特定の層を悪者にしない。
- 買物などの短時間利用の自転車(駐輪)対策が課題／対応に苦慮。商店街にも配慮した対策が必要。路上陳列等と合わせた悪循環。

課題調査部会における検討内容

- ①課題・ターゲットの確認→絞り込み ②取組提案のアイデア出し(補強) ③取組提案の絞り込み
- [検討にあたってのポイント]
- ・区の特徴や現状(中原区らしさ) ・区民会議で取り組む意義や妥当性・効果
 - ・緊急性・優先性(課題の深刻度) ・実現性(担い手・費用・手段等) ・話題性(ニュース性) ・共感性

第5回課題調査部会(8/3)等における意見・まとめ

課題分野	課題・発生個所	解決の方向性、取組の例や案 など
自転車に起因する交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ■自転車危険運転・違反運転…信号無視・夜間の無灯火・スピード等(松本委員) ■事故の増加・深刻化…多額の賠償金、未成年者の事故等 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の取組の周知・徹底(事務局) 交通安全教室・活動の浸透、広報強化 ・自転車保険加入の奨励・促進(梅原、長尾委員) TS マーク活用案内、PTA 等での保険加入の奨励 ・事故事例等の広報(梅原委員)
ルール …法令(道路交通法、条例、規則、罰則)、警察の取締り [守らない原因] ・危険や不便の回避 ・ルール軽視、低意識 ・無意識、無知など [主な対応策] →周知・取締り	<ul style="list-style-type: none"> ■駐輪場の利用促進…特に買物客等の一時利用者 ■自転車が安全・安心通行できる環境づくり(山崎委員) 自動車も、車道を走る自転車は怖い(梅原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の整備・拡大(仲亀・梅原・松本委員) ・課題箇所の抽出・分析・マップづくり(成田・長尾・山崎・反町委員)／多世代の参加によるワークショップ
	<ul style="list-style-type: none"> ■路上駐輪…歩道・点字ブロック上等(松本・仲亀委員) →平間駅周辺:ガス橋～小杉方面など ■路上陳列…商店による歩道占拠・通行妨害(松本委員) →モトスミ・ブレーメン通り、オズ通りなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇、ガードポール等設置による駐輪防止(松本委員)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ルールの周知・認知の拡大(松本・梶川・仲亀委員) ・携帯・傘等の「ながら運転」(梅原・長尾委員) …違法と認知していない場合も多い ・自転車=(軽)車両の意識がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の交通安全活動の浸透・広報強化(梶川委員) ・高齢者自転車安全教室の実施(田中委員)／老人会等 ・自転車安全運転者証の発行(梅原委員)／市の取組(小学生など)、ボーイスカウトの取組(講習・証明書発行)→講習会の開催、商店街割引の特典等
マナー …思いやり、譲り合い 相互理解、共存、常識 他者への配慮 [守らない原因] ・危険・不便の回避 ・自己中心的な理由 ・無理解、無知など [主な対応策] →啓発・普及	<ul style="list-style-type: none"> ■通行マナー(仲亀・長尾・反町・山崎委員) …並列通行、舌打ち、「ながら運転」 …対象:保護者・現役・主婦等の大人、中高生 ■ながらスマホ…歩行、ベビーカー等(長尾・梶川委員) ■自転車マナー…過速度、歩行者無視(梶川・山崎委員) ■ベビーカーのマナー…スピード、並列通行(長尾委員) ■通勤・通学時の混雑・危険運転等(山崎・成田委員) →保育園への送迎、出勤(特に武蔵小杉駅周辺) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナー教室の開催(長尾委員) 保育園・幼稚園参観日等、家庭教育学校、小中学校成人委員会、町内会等 ・SNS等を活用したアピール(長尾委員) 中高生向け ・ベビーカーのマナー用パンフレットの作成、配布(長尾委員) 配布は健診時など活用 ・マナー喚起看板の設置(山崎委員) ・啓発標語の選定と活用(成田委員)
	<ul style="list-style-type: none"> ■マナーを“知らない”人・子ども(梅原・反町委員) 	
環境の未整備	<ul style="list-style-type: none"> ■自転車通行帯表示の断絶や不明瞭さ(田中・松本委員) ■安全・安心な歩道の確保(障がい者・高齢者・子育て世代等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行帯・案内等の整備・充実(田中委員) ・循環型ミニバスの検討(松本委員)

第6回課題調査部会(9/2)における意見・まとめ

- スクアード・ストリート実施の拡大(成田・松本委員)
事故、危険性のスタント実演
中高生や親世代の体験機会の増加
記録映像等の作成・上映の機会の増加
- 軒下駐輪場(茅ヶ崎市事例)(コンサル)
商店街等の空き空間を一時駐輪場化
- キャンペーン・イベント(反町・山崎委員)
既存イベントでのステージ・展示
3月19日=「サイクルの日」として実施
自転車販売業者等と連携
…整備の指導・保険への加入奨励等
子どもが行きたい企画→親と行く
- 区民会議委員による広報活動(松本委員)
各種会合等への訪問・PR・周知活動
- 自転車安全運転者証(梅原委員)
既存の取組の拡大・発展、講座の展開
※名称や仕組み等は要検討・調整
- 啓発資料の作成・活用(反町・成田・長尾・梶川・松本委員)
動画(既存資料等の活用)
伝わるパンフレット(イラストや漫画形式)
子から親へ渡る資料・町会回覧等
自転車・ベビーカー等にスポット
- バス車内の啓発アナウンス(仲亀委員)
- コミュニティ・循環バス(松本・梅原委員)
ワンコイン・施設循環、高齢化対策等
→実施手順や事例の提示…地域主体の取組(住民協議会)・行政支援等
元住吉、井田病院ルート等変更・改善
→議会請願・陳情

運営部会における論点

- [検討にあたってのポイント]
- ・第6回全体会議に提案の可否
 - ・第7・8回課題調査部会で必要となる検討事項へのヒント、助言
[意見、提案の再整理・まとめ
→提案内容の絞り込み
→提案の具体化]

[視点]

- ・検討の方向性
- ・不足している視点や考慮すべき事項はないか
- ・意見の整理や提案の絞り込みに向けたポイントは何か
- ・課題調査部会でのポイント(再掲)
✓区の特徴や現状(中原区らしさ)が、踏まえられているか、盛り込まれているか
✓区民会議で取り組む意義や妥当性・期待される効果があるか
✓緊急性・優先性(課題の切迫度・深刻度)が認められるか、今、必要なものであるか
✓実現性(担い手・費用・手段等の目途)があるか
✓話題性・共感性(やってみよう・楽しそう)が覚えられるか、区民の参加・賛同を得られるか

※運営部会は俯瞰的な、区全体に渡る視点に基づいた議論を心がける

「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」

- ①「地域コミュニティ」の活性化・連携 ②「みんなで」(多様な区民が共に) 取り組む ③「相互理解、マナー、思いやり」を育む ④「歩きやすく、住みやすいまち」の実現